



証券コード：3997

株式会社トレードワークス

2018年12月期

決算説明会資料

2019年2月15日

- 1. 2018年12月期 概況**
- 2. 事業環境認識、今後の取り組み**
- 3. 2019年12月期 業績予想**
- 4. 参考資料**

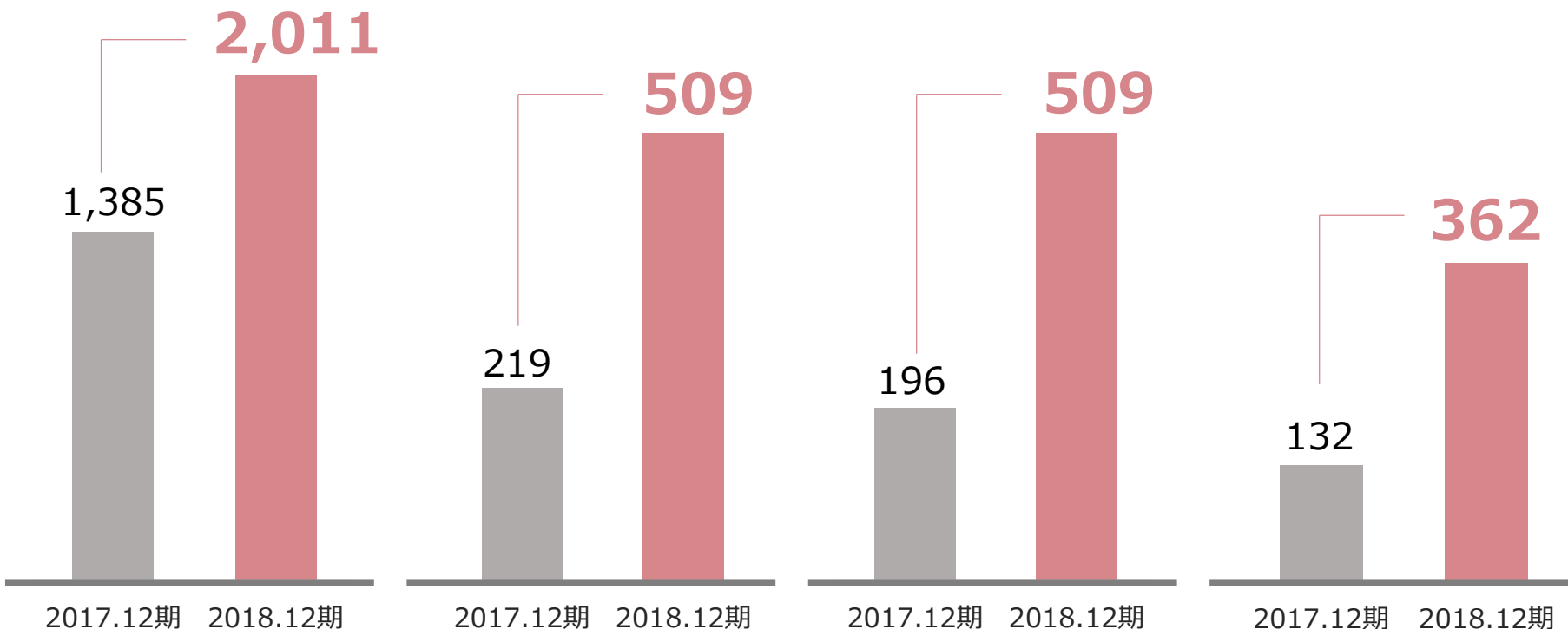
1. 2018年12月期 概況

■ サマリー

1. 証券関連システムを中心とする主力の金融ソリューションが、前期比1.5倍の売上となり、事業規模が大きく拡大。
2. 増収効果に加え、収益構造改革、案件ごとの効率的な開発といった収益性向上への取り組みも寄与し、大幅な増益を達成。
3. クラウド型サービスも進展。また、証券分野以外の新規顧客向けに個人型確定拠出年金（iDeCo）サービスのシステム提供も開始。
4. 次期は、事業拡大に加え、当社の強み「金融知識×IT技術を持つエンジニア集団」として価値を更に高めるべく戦略的な投資を実施し、今後も見込まれる金融業界での需要の増加を持続的に獲得できる体制の構築を図る。

■ 2018年12月期 業績推移 (単位：百万円)

前期比45.2%増収。当期純利益は、2.7倍。



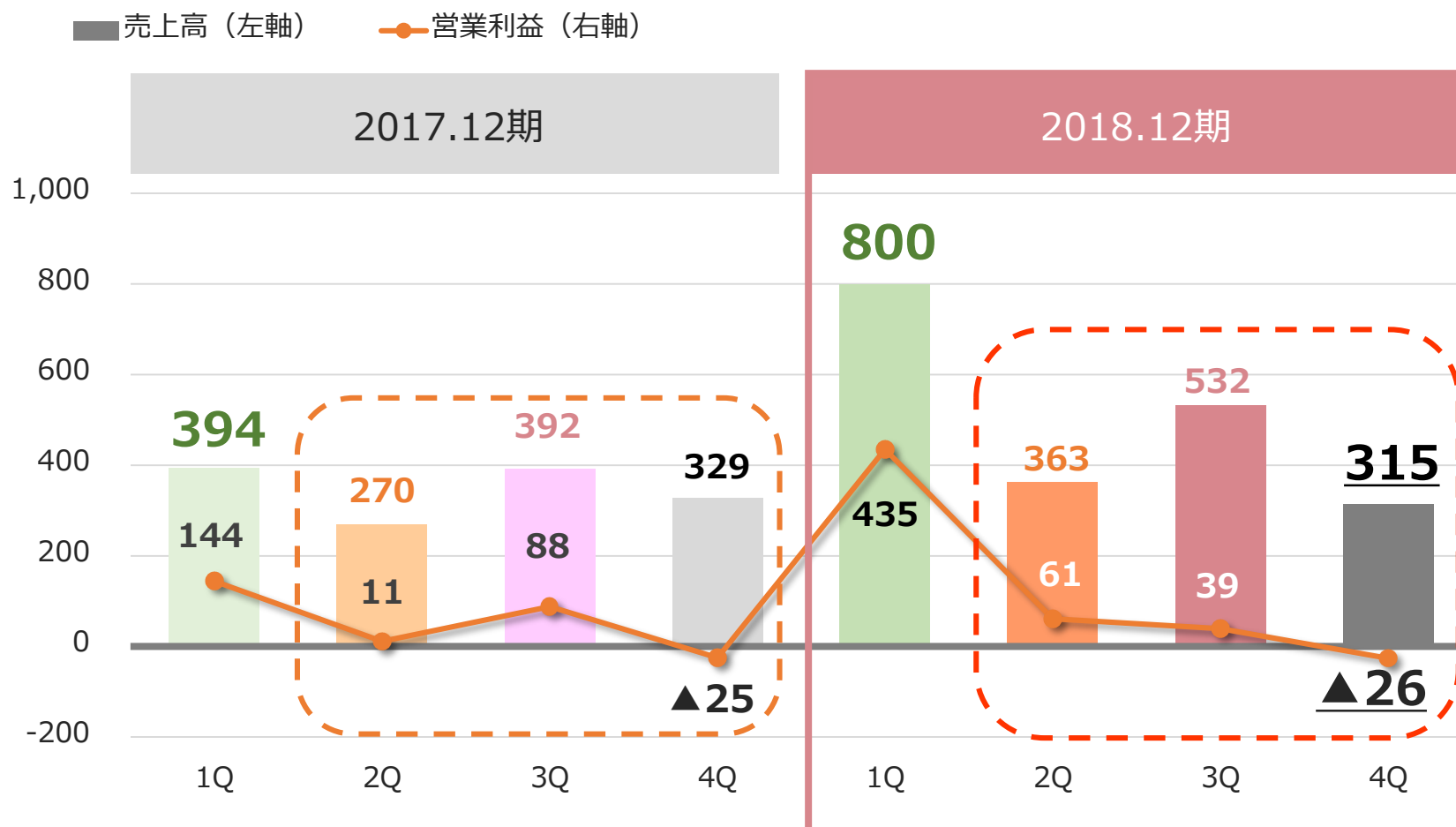
■ 増収の要因

- 1. 主力の証券取引システムにおいて、旺盛な需要が継続。年間を通じて、概ね前期比を上回る収益を獲得。**
- 2. 第1Qでの大型システム開発案件が年間の大幅増収に大きく貢献。**
- 3. 金融ソリューション事業でのクラウドサービスやFXシステム事業も収益UPに貢献。**

■ 売上高・営業利益（四半期推移）

（単位：百万円）

当期は、3月期顧客企業の影響から業績が集中する1Qにて、大型案件も加わり年業績を押し上げ。2Q以降も順調に推移。



■ 2018年12月期 業績ハイライト (単位：百万円)

**大幅増収に加え、原価低減策、販管費抑制策などが
寄与し、各段階利益において大幅な増益**

項目		2017.12期		2018.12期		増減額	前期比
売上高		1,385		2,011		625	145.2%
原価	原価率	874	63.1%	1,180	58.7%	305	134.9%
売上総利益		511		831		320	162.7%
販管費	販管費率	291	21.1%	321	16.0%	30	110.3%
営業利益	利益率	219	15.8%	509	25.3%	290	232.6%
経常利益	利益率	196	14.2%	509	25.3%	313	259.5%
当期純利益	利益率	132	9.6%	362	18.0%	230	274.0%

貸借対照表 (単位：百万円)

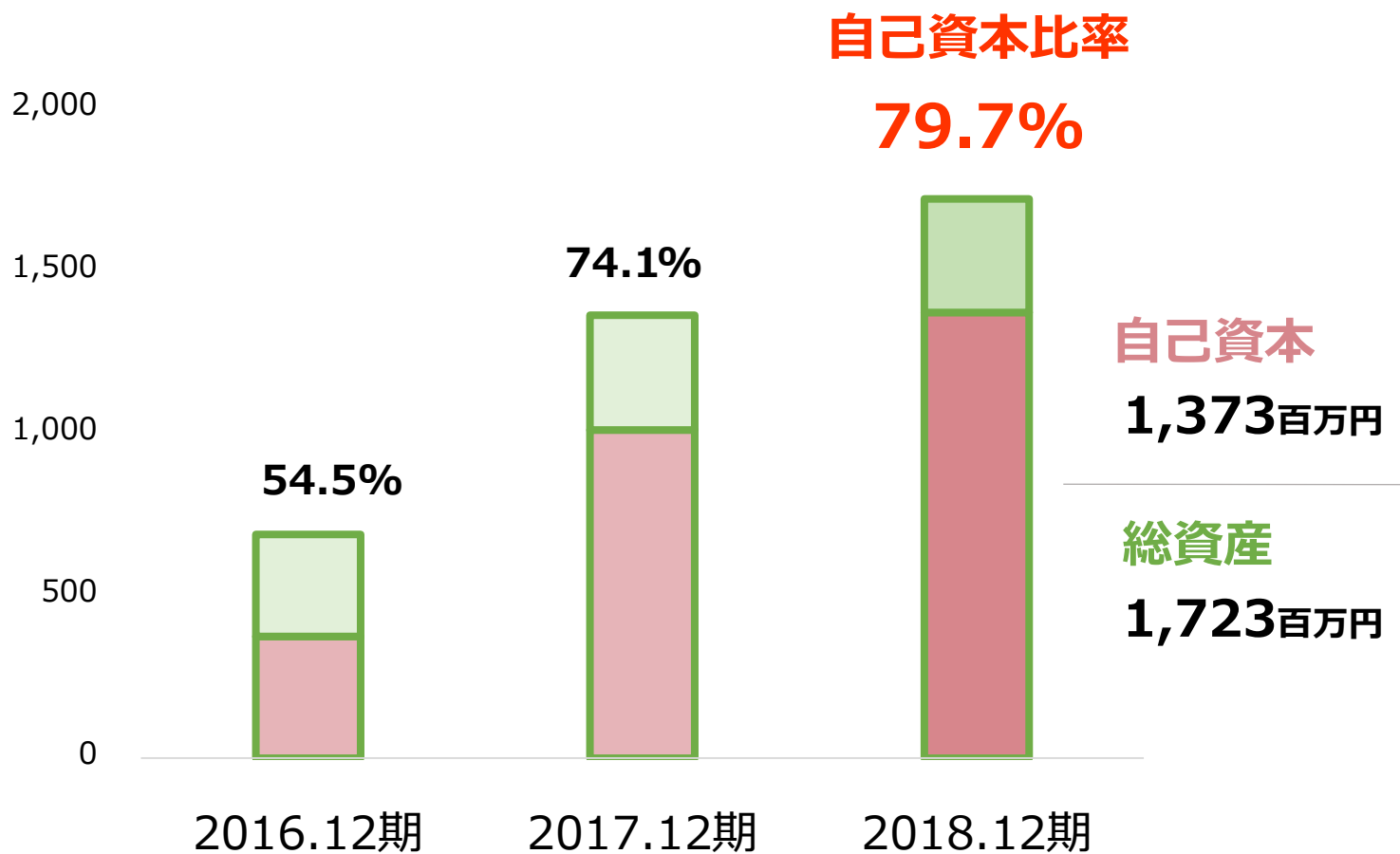


純資産が増加し、財務基盤強化が進展

	2017.12期	2018.12期	増減額
流動資産	1,325	1,567	241
現金及び預金	1,115	1,319	203
売掛金	134	90	▲44
固定資産	39	156	117
有形固定資産	5	7	1
無形固定資産	2	1	▲0
投資その他の資産	31	148	116
資産合計	1,365	1,723	358

	2017.12期	2018.12期	増減額
流動負債	248	295	47
買掛金	63	84	21
未払法人税	71	126	54
固定負債	105	54	▲51
社債	55	—	▲55
長期借入金	5	—	▲5
純資産合計	1,011	1,373	362
負債・純資産合計	1,365	1,723	358

自己資本比率が高まり79.7%へ上昇



■ トピックス

カブドットコム証券株式会社との共同開発によるVR環境を用いた株式取引システムのプロトタイプをCEATEC JAPAN 2018に出展



専用バイザーを装着し、向きを変えることで全方位様々な画面を見ることができます。

■ トピックス

市場拡大が見込まれる年金等の新分野も順調に事業進展中

KDDIアセットマネジメント(株)に 個人型確定拠出年金「iDeCo（イデコ）」サービスの提供開始

<節税シミュレーション画面>

<資産残高確認画面>

スマートフォンで、
個人型確定拠出年金の運用、管理
サービスを提供しています。



2. 事業環境認識・今後の取り組み

■ 事業環境認識 <IT全体>

IT投資需要の増加

**AI、IoT技術を利用した
新しいビジネスの進展**

**フィンテックによる
新たなサービスの提供**

**働き方改革、人手不足解消など
生産性向上策のニーズ増加**

IT投資需要の増加

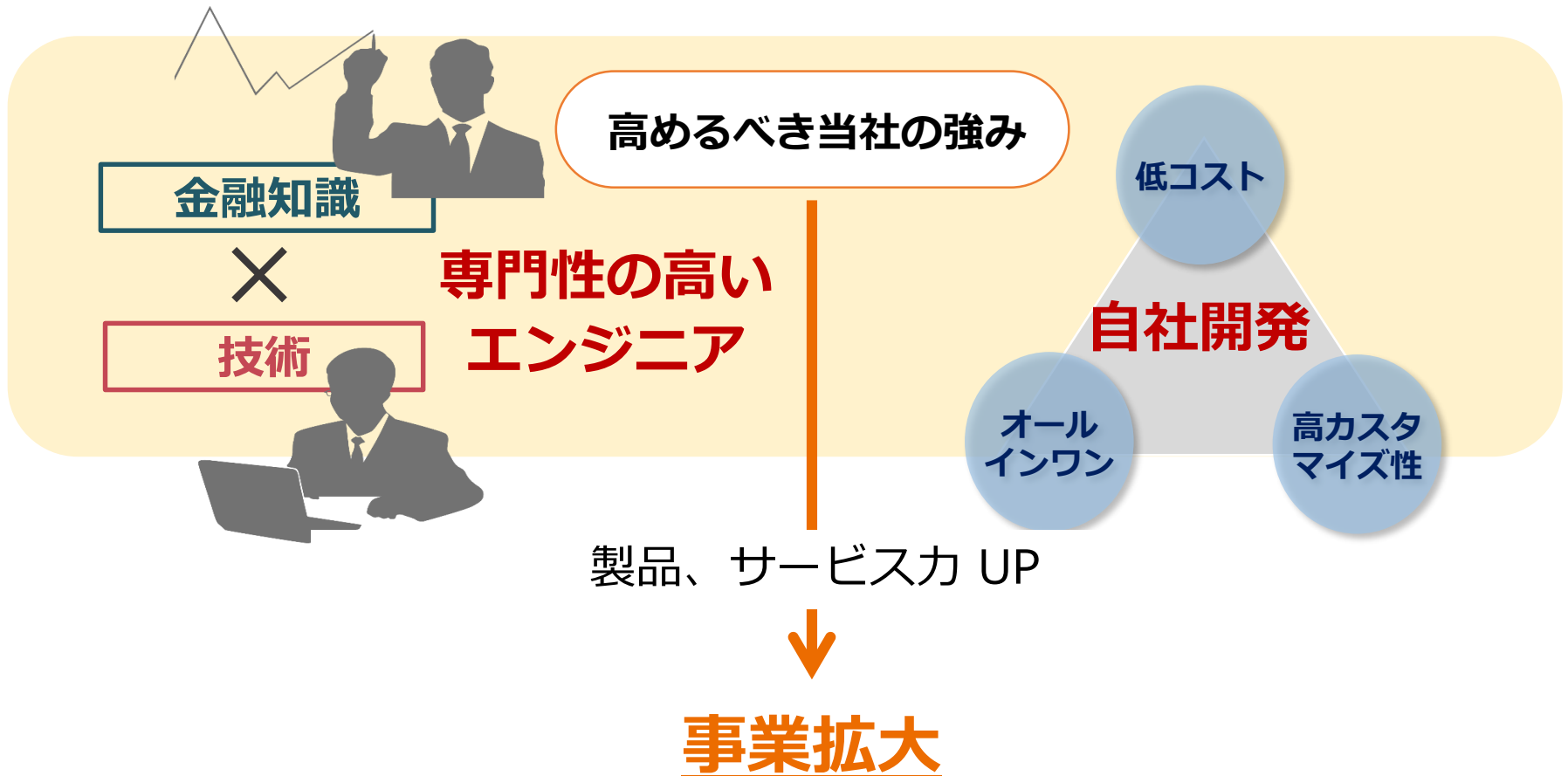
新技術の取得、対応

優秀なエンジニアの確保、育成

プロジェクトマネジメント能力

■ 今後の取り組み

継続的な事業拡大のために、収益の源泉である 金融知識を有するエンジニア、自社開発力を強化



■ 当社の特徴

技術と金融知識を持ち合わせた 専門性の高い集団

技術

- 最新テクノロジー
- AI
- RPA
- Fintech
- クラウド
- ビッグデータ
- バーチャルリアリティ
- 音声認識



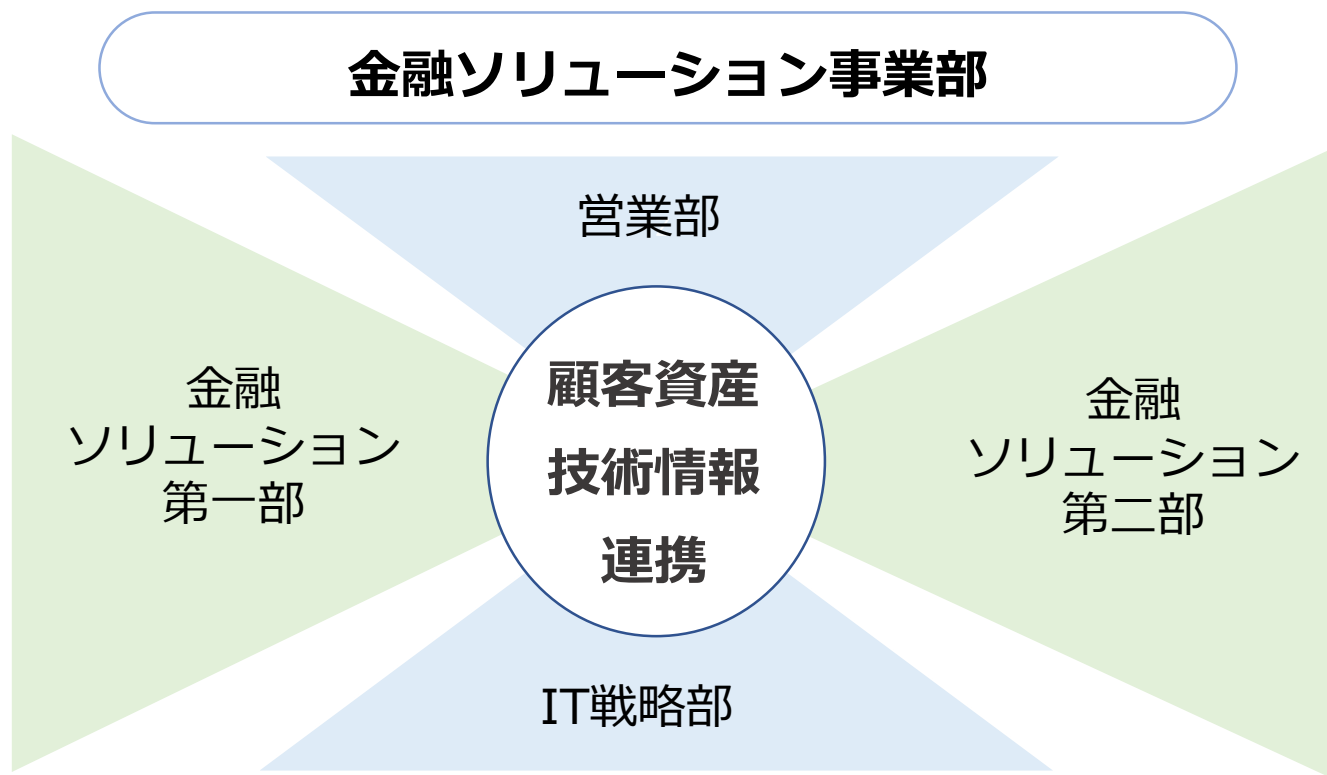
金融知識

- 株式
- FX・CFD
- 仮想通貨
- 投資信託
- 保険
- 年金

■ 来期の取り組み

推進体制

**顧客資産、技術情報の連携を強化し、
既存顧客の深耕と新規顧客開拓を実行**



■ 継続的な取り組み

ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。

技術者育成 + 環境整備
全社横断 品質・生産性向上

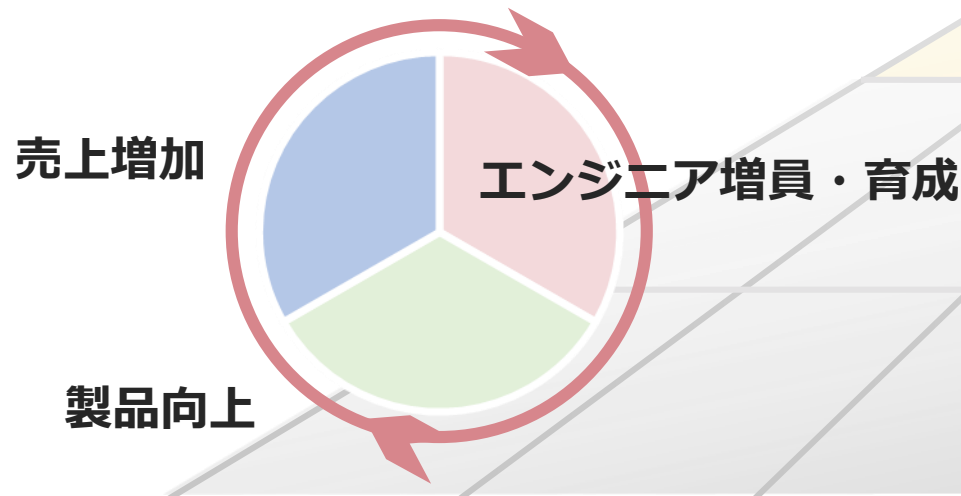
■ 成長戦略

好循環サイクルを活かして事業を拡大 新たなステージに挑戦

NEW STAGE

ソフトウェアの信頼性向上、魅力の促進
他ベンダーとの連携の促進、国際的ブランドの確立

仮想通貨、年金、保険など新たな業種への
事業拡大



3. 2019年12月期 業績予想

■ 2019年12月期 業績予想 (単位：百万円)

戦略投資を実行しつつ、5期連続増収を図る

項目	2017.12期	2018.12期	2019.12期 (予)	増減額	前期比
売上高	1,385	2,011	2,109	97	104.8%
営業利益	219	509	301	▲208	59.1%
経常利益	196	509	302	▲207	59.3%
当期純利益	132	362	206	▲156	56.8%

2018年12月期は、大型案件により第1四半期が突出した業績となりましたが、2019年12月期は、第1四半期の業績が突出する業績計画としておりません。

2019年12月期 業績予想

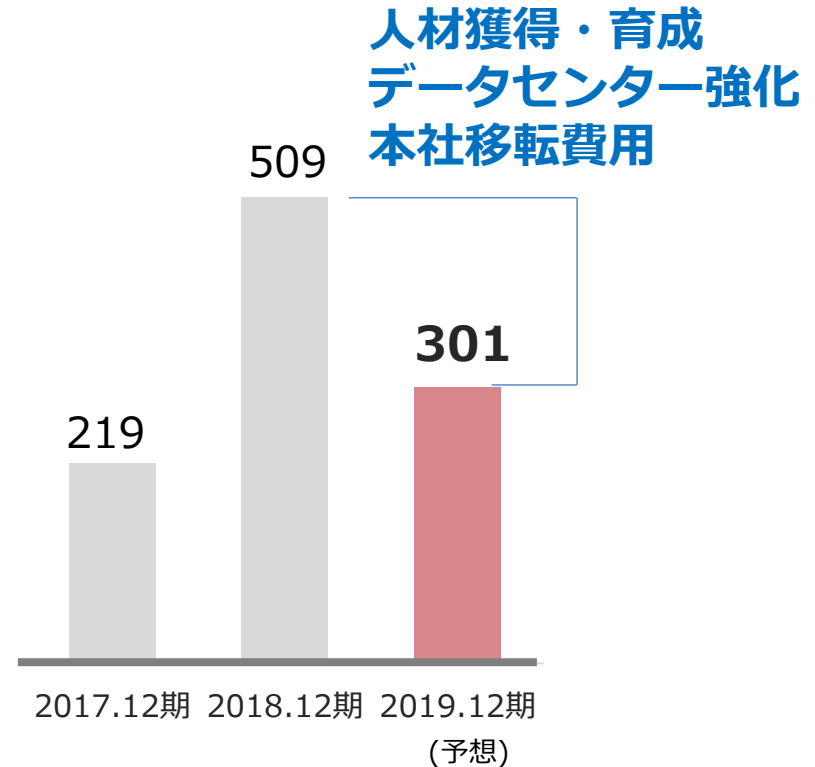
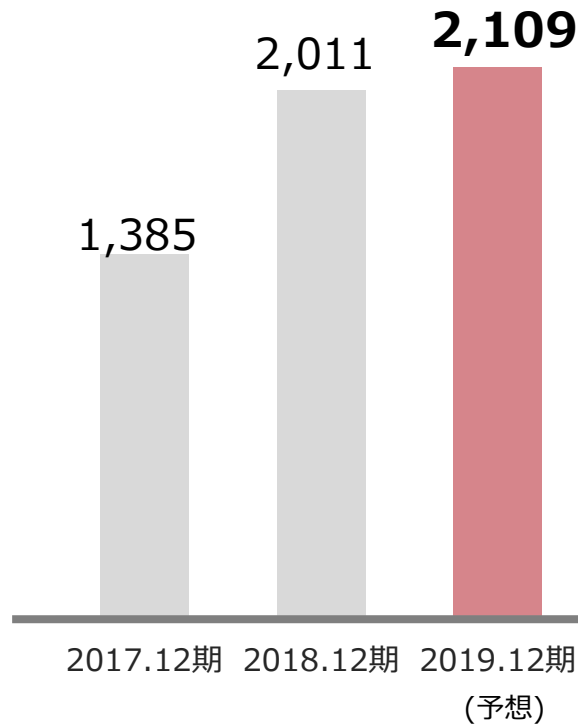
(単位：百万円)

売上高

営業利益

大型案件の寄与による前期
増収分以上の売上を確保

強みを高めるための
戦略投資実施により減益



■ 株主還元について

**経営基盤の強化を最優先し、
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、
利益配分を実施**

初めて配当を実施した、前期同様1株当たり5円の配当を予定

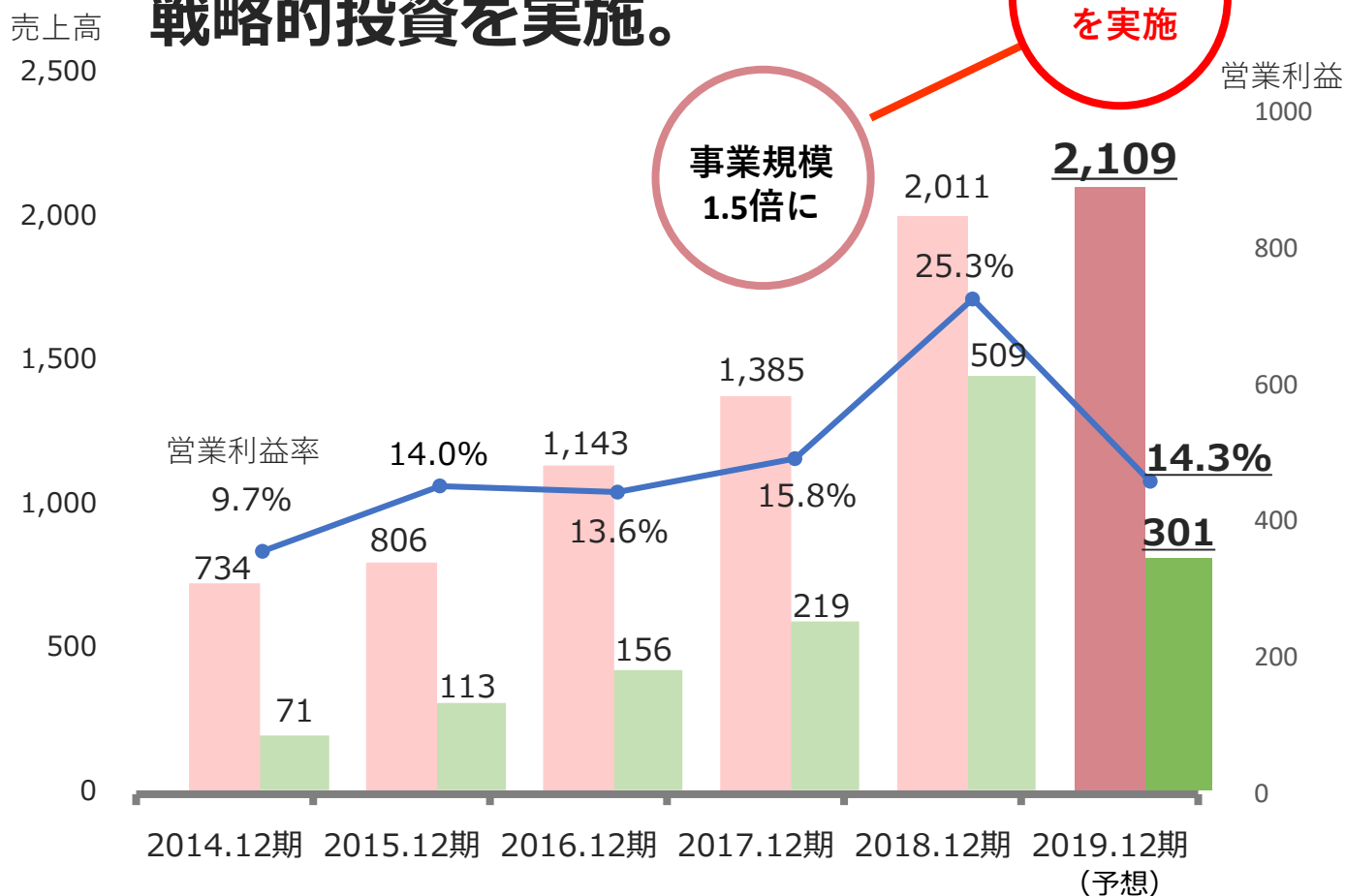
項目	2017.12期	2018.12期	2019.12期 (予)
配当金 (1株)	0円	5円	5円

4. 參考資料

業績推移 (単位：百万円)

事業規模は着実に拡大中。
2019年12月期は、
継続的な拡大を続けるべく
戦略的投資を実施。

事業拡大



2019.12期

売上高
2,109
百万円

営業利益
301
百万円

経常利益
302
百万円

当期純利益
206
百万円

■ 留意事項

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス

〒102-0082 東京都千代田区一番町4-6一番町中央ビル

TEL :03-3515-6618 FAX:03-3234-3226

<http://www.tworks.co.jp/>